

## 計画推進部会の点検・評価の結果について

### 1 部会開催状況

計画推進部会は、7月12日(火)と7月21日(木)の2回に分けて会議形式で開催し、第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン推進施策の令和3年度取組状況について、点検・評価を実施しました。

なお、今回は、推進施策の令和3年度実績に係る資料、事務局からの口頭での説明に加え、新たな試みとして、市が各事業の目標値に対する達成状況を客観的に評価した「内部評価」も参考にしながら点検・評価を行いました。

### 2 点検・評価の結果

資料3において、各推進施策の進捗状況に対する委員の点検・評価の結果と意見を集約しています。全体の評価結果は以下のとおりです。(各委員の意見については、資料2をご覧ください。)

なお、全体の評価については、各委員の評価結果を基に、以下の判定基準で行いました。

#### <評価結果>

推進施策	評価結果	推進施策	評価結果
1-(1)	どちらかといえば順調である	3-(1)	どちらかといえば順調である
1-(2)	どちらかといえば順調である	3-(2)	※(評価が分かれた)
2-(1)	評価保留	4-(1)	どちらかといえば順調である
2-(2)	※(評価が分かれた)	4-(2)	どちらかといえば順調である
2-(3)	※(評価が分かれた)	5-(1)	どちらかといえば順調である
2-(4)	※(評価が分かれた)	5-(2)	評価保留

#### <評価の判定基準>

順調である=A、どちらかといえば順調である=B、あまり順調でない=C、  
順調でない=D、評価保留=E

- ①委員の過半数がAと評価した施策は、「順調である」と評価
- ② " Bと評価した施策は、「どちらかといえば順調である」と評価
- ③ " Cと評価した施策は、「あまり順調でない」と評価
- ④ " Dと評価した施策は、「順調でない」と評価
- ⑤ " Eと評価した施策は、「評価保留」と評価
- ⑥委員の評価が、A評価、B評価それぞれでは過半数とならず、合計して過半数となった施策は、「どちらかといえば順調である」と評価
- ⑦委員の評価が、C評価、D評価それぞれでは過半数とならず、合計して過半数となった施策は、「あまり順調でない」と評価
- ⑧委員の評価が、A～Eに分かれ、上記①～⑦のいずれにも該当しない施策は、「※(評価が分かれた)」と記述

### 3 部会長総括

12の推進施策に対する点検・評価の結果、「どちらかといえば順調である」が6つ、「評価保留」が2つ、「評価が分かれた」が4つとなりました。昨年度と比較して、委員によって評価内容が分かれる施策が多くありました。

まず、「どちらかといえば順調である」と評価した施策について、「1-(1)教育・保育内容の質の向上」および「1-(2)認定こども園、幼稚園、保育所と小学校との連携の推進」においては、市立園のICTへの対応や、接続期カリキュラムの実質的な運用を期待する意見がありました。「4-(1)妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援」および「4-(2)子どもの健康の保持と増進」では、コロナ禍においても、目標値を達成する項目が多く、順調と評価する委員が多くいました。母子保健の分野における健診などの事業は、長期化するコロナ禍の中で、実施方針が変更になることもあるかと思えます。こういった部分は数値の実績だけでは見えない部分でもあるので、引き続き、市民の視点に立って柔軟な実施をお願いします。

評価保留となった「2-(1)地域における子育て支援の推進」及び「5-(2)虐待などのない社会づくりに向けた取組の推進」については、コロナの影響を受け、目標値と実績に乖離が生じている項目が多く、評価が難しかったことが要因と思われます。

ただ、子育て支援センターでのオンライン相談や、コロナ感染拡大中でも人数制限などを行いながら開設する方針としたことなど、新たな試みは評価されます。また、「ファミリー・サポート・センター延べ活動件数」については、補助事業の影響で、指標と実績に乖離が生じているため、目標の修正が必要との意見もありました。

虐待防止については、啓発活動が難しい面もあるかと思えますが、引き続き、関係機関と連携して、未然防止に努めてください。

評価が分かれた施策について、「3-(2)放課後の子どもの居場所の確保」については、「順調である」、「どちらかと言えば順調である」と評価する委員が半数いた一方で、「あまり順調でない」と評価する委員も半数いました。ニーズの高い事業でもあるので、引き続き目標値に向けた施策の推進をお願いします。

最後に、昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響を受け、計画どおり実施できていない事業も散見されましたが、昨年度と比較すると、コロナ禍において、柔軟に対応しながら実績を上げている事業もあったようです。今回委員から出された意見も参考にしながら、引き続き柔軟な対応をお願いします。

また、コロナ禍をはじめとした社会情勢の変化等のために、以前に立てた指標や目標値が推進施策の点検・評価のために適していないと思われるものも生じてきているようです。今年度実施する第二期子ども・子育て支援プランの中間見直しにおいては、会議内の意見にもあったとおり、目標値の見直しだけでなく、指標として適切なものかの検討を含め検証をお願いします。